

平川地区幼保連携推進に関する意見交換会 開催結果

1. 趣旨

平川地区のまちづくりに向けた子育て支援の充実を図るため、幼児教育及び保育の連携や子育て支援センターの設置に係る検討状況を説明するとともに、幼保施設に求める機能やサービス等について、子育て世代をはじめとした地域の方々との意見交換会を開催した。

2. 開催状況

- ①日時 : 令和3年11月14日(日) 午前10時～午前11時20分
- ②場所 : 平川公民館 体育室
- ③参加者 : 18名(うちアンケート回答 16名)

3. 配布資料

- ・【資料】平川地区の幼保連携推進について
- ・アンケート用紙

4. 意見

(1) 意見交換(要約)

市民の意見①

既存の保育所や幼稚園は老朽化しているが、ハザードマップから見ると非常に安全な地域に建てられているので、安心して子どもを預けられる。

コロナ禍で女性の就業が減っているこの時期に、平川地区の幼保施設を減らす判断をして欲しくない。経費削減のために民営化して一本化すればいいというのは乱暴ではないか。

子育て支援センターはセンターで作ればいいので、そのために一元化するのは間違っていると思う。

【市の見解】

安全性は土地だけでなく建物の問題もあるため、子ども達の安全を保つためにも建物自体の老朽化対策を進める必要があります。

平川地区の活性化や子どもの減少を食い止めるため、この地域により良い保育サービスを持続的に提供する手法を検討しているところです。今回は整備パターンをいくつか提示しましたが、頂いたご意見も踏まえて今後の検討を進めたいと考えています。

市民の意見②

子どもが中川幼稚園を利用しているが、自然を利用した遊びや近隣の方との交流などの体験も多く、とても良い幼稚園なので、無くして欲しくないという思いが強くある。これからは民間の施設を中心にしていくという話だが、環境が変わってしまうことを心配している。

友人に中川幼稚園の環境を伝えるとぜひ行かせたいという反応だが、2年保育であることや延長保育が無いことなどがネックになっている。

【市の見解】

豊かな自然の中で子どもが育つことができるという平川地区のメリットは、今後の施設整備の中でも最大限活用していきたいと考えています。中川幼稚園の課題だけでなく、平川地区の3施設が有する課題を踏まえながら新たな施設整備を検討したいと考えています。

市民の意見③

今回提示された4つの整備手法のうち、吉野田保育所の単独改修は最も費用対効果が少ないということだが、金を投資しても効果が無いということか。

現在の平岡地区及び富岡地区に保育所が1箇所ずつと、中川地区に幼稚園が1箇所あるという配置が適正であると思っている。子どもの数が減っているとはいえ、これだけ広い地域の幼保施設を改修のために一つにまとめるのは安直な発想ではないか。

公立で施設を整備する場合に国からの補助がないのは、袖ヶ浦市に税収があるためではないか。

【市の見解】

費用対効果には職員の確保や建物の維持管理の問題も含まれています。市全体の予算に上限があるなかで様々な福祉サービスを提供していくためには、ある程度費用面も考慮する必要があります。

身近な施設が消えてしまうことへの感情についても、幼保のサービスレベルを上げていくために地域にとって一番良い手法を考えるなかで、貴重なご意見と考えています。

財政力指数が1.0を切ると国から財源が補填されますが、袖ヶ浦市の場合は国からの補助金がないため、限られた財源の中で様々なサービスを提供しなければならず、必ずしも税収があるから余裕があるものではないことをご理解ください。

市民の意見④

4つの整備手法のうち、3園統合かつ認定こども園化で公設民営がいいと思う。やはり今は、より良いサービスを提供するには民間の力を利用するのがいい。

子育て支援施設を統合するにあたっては、市の施策と連携を図って複合的な機能を持たせて欲しい。子育て支援の施設を作ったからといって人口が増える訳ではないので、地域振興のためには人口減少抑制や移住施策をしっかりとやる必要がある。

【市の見解】

今回の幼保施設の整備だけでなく、地区計画などの色々な施策があって平川地区のまちづくりが進んでいくものだと考えています。

若い世代を対象とした移住者の呼び込みや、地域で生まれ育った方の定着については、子育て関連施設の充実が訴求力になるため、地域活性化の一助として今回の取組を進めているところです。

(2) アンケートの意見

回答者について

①性別

	人数(人)	割合
男性	5	31%
女性	9	56%
未回答	2	13%
合計	16	100%

②年齢

	人数(人)	割合
20代	1	6%
30代	1	6%
40代	5	31%
50代	2	13%
60代以上	6	38%
未回答	1	6%
合計	16	100%

③居住地区

	人数(人)	割合
平岡	4	25%
中川	2	13%
富岡	1	6%
根形	2	13%
昭和	2	13%
長浦	4	25%
市外	1	6%
合計	16	100%

※端数処理のため各項目の割合の合計が100%にならない場合があります。

アンケートの自由意見（要約）

①これからの幼児教育・保育施設に求める機能・サービスについて

- 常設の子育て支援センターの設置
- 幼稚園における給食・預かり保育・3年保育の実施
- リモートワーキングの対応
- 保育の手厚いサービス
- 子や親の負担が増える事のないよう十分な配慮
- 安心、安全な保育
- 自然との触れ合いなどを多く取り入れた保育
- 広い地域に3つある施設の維持

②平川地区幼保施設整備計画について

- 選択肢が無くなるのはどうかと思う。1つになると選べない。
- こども園化により異年齢での交流ができるのでとても良いことだと思う。
- 3園統合かつ認定こども園化で、公設民営が良いと思う。
- 子育て支援センターの設置をぜひお願いしたい。
- コロナ禍で働く女性が減っている最中に保育所を減らしてしまうのは横暴。
- 課題は運営形態ではないかと思う。
- コロナ禍の現状も考えると定員は120名がやっとだと思う。
- 幼保施設計画について、多くの市民や関係者に伝えたほうが良い。

③その他の幼児教育・保育施策全般について

- 市立幼稚園を大切にするなら、3年保育や給食の実施に取り組むのも良いのでは。
- 未来の子どものことも分かりますが、今すぐ対応できることはないのですか。
- 移住対策、農業施策、まちづくりと連携した取組を希望します。
- 公立幼稚園をなくし民営化一本にしようという考え方に反対します。
- 保育施設を統合すれば人口は一層減ると思う。地元で働き、住むことができる施策が必要。